「不安解消」患者は歓迎

ヘルパー解禁
意思疎通の通訳担う

重い病気やけがで話すことができず、意思疎通には専門のヘルパーが頼り。でも入院中はヘルパー利用が許されず、自分の体調などを病院側に伝えられない―。そんな難病患者や重度障害者の不安が解消に向かいそうだ。厚生労働省がヘルパー利用制限を見直す方針を決め、患者らは「安心できる」と喜んだ。

透明な文字盤を通してヘルパーに意思を伝えるALS患者の岸川紀美恵さん＝1月、横浜市磯子区

「ま、く、ら、の、い、ち（枕の位置）。あ、ご、を、あ、げ、る（顎を上げる）」

横浜市磯子区の自宅で暮らす岸川紀美恵さん(54)の目の前で、女性ヘルパーが「あいうえお」など五十音が書かれた透明の文字盤を動かし、視線の先を追って岸川さんの話したい文字を読み取っていく。ヘルパーは枕や頭の向きを調整した。

岸川さんは全身の筋肉が徐々に動かなくなる筋萎縮性側索硬化症（ALS）の患者。ヘルパーに文字盤をかざしてもらい、適切な文字が目の前に来た時にまばたきし、それを繰り返して文章をつくる。意思疎通支援に当たるヘルパーは、介護だけでなく「通訳」の役割も担う。

だが急病や手術などで入院すると、この「通訳」支援が受けられない。独自の支援事業を実施している自治体もあるが、ヘルパーの派遣時間は限られる。病院の看護師は文字盤の使い方を知らないことがある。知っていても他の患者の看護もあり忙しい。

ヘルパーを頼れないため入院時に恐怖を感じることも。岸川さんはたんを吸引してほしかったのに伝わらず一息ができなくて死にそうになった」経験があるという。意思疎通が足りないせいでケアが不十分になると、容体悪化につながる。

昨年7～8月に全国のALS患者らを調査したNPO法人「さくら会」によると、8割が病院職員と意思疎通できていなかった。

関連法が改正されれば、普段から慣れ親しんだヘルパーに入院中もそばにいてもらえる。全国脊髄損傷者連合会の大浜真副代表理事は「怖くて入院できなかったが、これで安心できる」と話す。

桜島噴火、住民は冷静

専門家も「昨年と同規模」

142日ぶりに爆発的噴火が起きた桜島（鹿児島市）は6日、新たな噴火がなく、住民らは普段通りの生活を送った。桜島では昨年、爆発的噴火だけでも737回発生しており、京大防災研究所の井口正人教授は6日、同市内で開かれたシンポジウムで「今回観測した地盤変動は昨年のように噴火はいつでも起こり得る」との見解を示した。

桜島と鹿児島市の市街地を結ぶフェリーは6日も通常通り運航。島の溶岩道路などを走る鹿児島県中学校新人駅伝競走大会も予定通り開かれた。

島南部に住む岩森伊津子さん(62)は「久しぶりの噴火で驚いたが、いつも通りの大きさだったので心配していない」と冷静。ただ、灰が降ると洗濯物を外に干せないなど不自由な生活を強いられ、今後の火山活動を案じている。

5日の爆発的噴火では噴煙が火口から高さ約2200㍍に達した。福岡管区気象台によると、6日の上空からの調査では、昨年12月と目立った違いはなかった。噴火警戒レベルは3（入山規制）を維持、気象台は「同程度の噴火が発生する可能性はあるが、急激な活発化の兆候は認められない」としている。

爆発的噴火から一夜明けた桜島を撮影する観光客＝6日午前、鹿児島市

性交渉で感染の可能性

ジカ熱でCDC新指針

【ワシントン共同】米疾病対策センター（CDC）は5日、ジカ熱が性交渉を通じて感染する可能性があるとして、流行地域で居住する人や旅行した人に、性交渉を控えるか、コンドームを常用することを推奨するとした新たな対策指針を公表した。

2日にテキサス州ダラス郡の衛生当局が性交渉による感染例を報告するなど、CDCはジカ熱が性交渉で感染する可能性を示す事例が世界で3例あると指摘した。

新指針についてCDCは「もっと詳しい知見が積み上がるまでの暫定的なもの」としているが、ジカ熱には症状が出ずに感染に気づかない場合もあるほか、症状が治まりウイルスが血液から消えた後も精液から検出された症例があるとして、注意を呼び掛けている。

ジカ熱は中南米を中心に感染が広がっており、妊婦の感染と、生まれた赤ちゃんの小頭症との関連が疑われている。

アンジー監督映画が公開

日本軍捕虜収容所描く

映画「不屈の男 アンブロークン」の一場面（©2014 UNIVERSAL STUDIOS）

第2次大戦中に旧日本軍の捕虜になった元米軍人の体験を基に、女優アンジェリーナ・ジョリーさんが監督した映画「不屈の男 アンブロークン」が6日、東京都渋谷区のシアター・イメージフォーラムで公開初日を迎えた。

陸上5000㍍で五輪に出場したルイ・ザンペリーニ氏が、第2次大戦中に日本軍の捕虜収容所で伍長から執拗な虐待を受ける姿が描かれており、ネット上では「反日的」との批判もあった。

同作は全国約40館で順次公開される予定。

故で息子を亡くした女性の話を聞いた江口さんは、突然将来を奪わ

年度までに延べ150万人の中高生が受講した。

◆兵庫で卵化石展始まる

兵庫県丹波市の約1億1千万年前（白亜紀前期）の「篠山層群」から昨年10月に見つかった、ニワトリより小さい獣脚類恐竜か鳥類とみられる卵の化石4点の展示が6日、兵庫県立人と自然の博物館（同県三田市）で始まった。28日まで。

保存状態の良い化石は高さ4㌢、幅2㌢で、博物館によると、卵の形状をとどめた化石としては国内初で、恐竜の卵なら世界最小とされる。

発掘現場は恐竜の巣だった可能性もあり、当時の繁殖活動や巣作り、進化の過程を知る上で貴重な資料となるとみられている。

◆「ゲスの極み乙女。」新作映画の主題歌降板

タレントのベッキーさん(31)との不倫騒動が週刊誌などで報じられた川谷絵音さん(27)がボーカルを務めるロックバンド「ゲスの極み乙女。」が、担当する予定だった「映画クレヨンしんちゃん 爆睡！ユメミーワールド大突撃」（4月16日公開）の主題歌を降板したことが6日分かった。

関係者によると、主題歌は昨年12月に同バンドに依頼されたが、騒動が報じられた後の1月下旬、取りやめが決まった。関係者は「総合的に判断した」としている。

◆京都・南座が当面休館

京都市東山区の南座は5日、耐震改修工事に向け、1929年に建てられた劇場を当面の間、休館すると発表した。再開の時期は未定。

南座によると、2013年11月に施行された改正耐震改修促進法による耐震診断の結果、安全性向上のための工事を検討することになったという。今後、第三者機関による診断結果の判定を経て工事計画を決める。

◆出版取り次ぎの太洋社、自主廃業へ

出版取り次ぎ中堅の太洋社（東京）が出版不況などの影響で、自主廃業の準備に入ったことが5日、分かった。取引のある各出版社に「いずれ、自主廃業を想定せざるを得ない」と、資産の整理状況などを知らせる同社からの文書が届いた。

東京商工リサーチによると、太洋社は出版取り次ぎ7位。文書では、ピーク時の2005年6月期には約487億円だった売り上げが、出版市場の縮小で主要取引先を失った結果、15年同期は約171億円まで激減したと説明。「このまま漫然と経営を継続すると、出版社への支払いに困難をきたす事態が生じる」と記している。

◆羽生4冠が21度目の賞金トップ

日本将棋連盟は5日、2015年の獲得賞金・対局料ランキングを発表し、羽生善治4冠(45)＝名人・王位・王座・棋聖＝が1億1900万円で2年連続21度目のトップとなった。

2位は糸谷哲郎八段(27)の5531万円で、3位は渡辺明2冠(31)＝竜王・棋王＝の4577万円だった。女流棋士では、里見香奈女流4冠(23)＝女流名人・女流王位・女流王将・倉敷藤花＝が5年連続で1位（金額は非公表）となった。

その施術 保険証が

保険証 □□□□

保険証が使える場合

- 骨折、脱臼、打撲及び捻挫で、内科的原因による疾患ではないもの
- 応急処置以外の骨折、脱臼

一身近な自然をめでる」に取り組んでいるが、一最低返還月額も2千一ら、固定額制と所得連ら8500円となる。